

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット

情報公開の方法 以下のURLで公開する 倫理委員会のホームページでも公開を希望する

URL <https://melanophage1015gmailcom.notion.site/1d8ee951eccb80468f2ddf6b40bd5c83>

承認番号	4337
研究課題名	アーツ・ベースド・ラーニングを活用した医療安全教育の有用性と普及に関する研究
研究の意義・目的	市民の皆様には安全で質の高い医療を提供するためには、職員に効果的な安全教育を行う必要があります。近年、芸術や表現の手法を応用した学習方法が、大人の教育に有効であり、学習効果を高めることがわかってきました。そこで、本研究では、芸術や表現の手法を用いた安全教育を職員に行い、その結果、病院がどの程度、安全になったかを調べます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後から2027年3月までを予定しています。
研究対象者の範囲	倫理委員会承認後、退院された患者様の電子カルテを閲覧させていただきます。
お願いする内容	<p>大阪公立大学医学部附属病院（当院）が共同研究の代表施設として研究いたします。</p> <p>本研究では、入院中に起こった患者様の合併症の程度や転記などを調べ、2～3か月ごとに「発生率」を計算して、グラフを描き、教育を行った後に病院がだんだん安全になっていくかどうかを観察します。そのために、大阪公立大学医学部附属病院に入院され、退院された患者様の電子カルテを乱数表を使ってランダムに選ばせていただき、閲覧させていただきます。お一人当たり、1回程度の閲覧です。</p> <p>※当院の患者様のカルテから計算されたデータは、当院の安全の度合い・教育による安全性向上への効果を調べるために使います。データは当院および医学研究科で解析・管理し、他施設に提供されることはありません。</p>
頂いた試料・情報の提供方法	上述の通り、2～3か月ごとに合併症や死亡の「発生率」をグラフに描いて、病院がだんだん良くなっていく様子を観察するので、患者様の個人情報特定されることはありません。なお、分析終了後には、研究の成果は報告書にまとめホームページ上で、ご覧いただけるようにいたします。
頂いた試料・情報の管理について責任者	大阪公立大学医学部附属病院 新規技術・医薬品審査部 小出直樹
この研究を行っている施設（共同研究機関）	<p>京都府立医科大学 医療安全管理部長・副院長・麻酔科教授 佐和貞治</p> <p>大阪医科大学附属病院 医療安全対策室室長・特務准教授 村尾仁</p> <p>和歌山県立医科大学 医療安全推進部部長・病院教授 水本一弘</p> <p>山口大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部副部長・准教授 山口道也</p> <p>国際医療福祉大学成田病院 医療安全管理部長・教授 山口悦子</p>
代表施設のURL	https://www.hosp.omu.ac.jp/
研究の成果を公表する方法	研究成果は報告書にまとめ、ホームページなどでご覧いただけるようにいたします。そのほか学会発表や論文発表を行い、安全な病院を創るための教育方法を、全国の病院と共有いたします。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することで、データ抽出前であればカルテの閲覧を拒否できます（発生率を計算後はどなたのカルテであったかを特定することが出来ません。）。また、カルテの閲覧を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	〒545-8586 大阪市阿倍野区旭町1-5-7 大阪公立大学医学部附属病院 新規技術・医薬品審査部 E-mail: ocuqualitysafety@gmail.com